

令和8年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 芦原美佳子議員

令和8年度当初予算の一般会計予算額は325億6,000万円で過去最高となりました。本予算は、市長が掲げる市政の安定とさらなる発展を、の方針の下、新年度のテーマを楽しく健やかな暮らしとし、市民生活に密着した施策がバランスよく盛り込まれたものと評価をいたします。

まず、安全安心の分野では、中央防災倉庫の運用開始に向けた整備やトイレカーの導入など、防災体制の強化が着実に進められます。近年の大規模災害の教訓を踏まえ、実効性の高い備えが進められている点は、市民の生命と暮らしを守る観点から高く評価するものであります。

次に、子育て・教育については、新たに民間保育園2園が開園し、待機児童ゼロの達成が見込まれること、また、小学校給食費の無償化や不登校対策の充実など、子育て世帯に寄り添う施策が大きく前進するものと受け止めております。

さらに、健康・福祉では、5歳児健康診査の開始や地域包括支援センターの新設など、切れ目のない支援体制の構築が図られます。特に5歳児健診については、約20年前に当会派の先輩議員がその必要性を訴えて以来、継続した導入を求めてきたものであり、近隣自治体に先駆けて実施に向けた動きが進んでいることを深く感謝申し上げます。また、国民健康保険税の負担軽減措置も、市民生活を守る上で重要な取組であります。

経済対策においては、物価高騰への対応として、1月補正で議決された市民1人当たり5,000円のギフト型商品券の配付に加え、省エネエアコン購入促進事業補助金や市内事業所の賃上げ環境整備を目的とした設備投資補助など、生活支援と地域経済の活性化の両面に資する施策として評価いたします。

加えて、都市基盤整備では、三郷駅周辺まちづくり事業が本格的な段階に入り、本市の将来を見据えた重要な投資として着実に進められていきます。そして、印場駅北側バリアフリー化や公園整備など、暮らしの質を高める取組も前進してまいります。

このように、本予算は、私ども公明党尾張旭市議団が市長に対して要望してきた防災減災対策の強化、子育て支援の充実、物価高騰対策、福祉の充実などが随所に反映された内容となっており、その点を高く評価するものであります。

一方で、財政面においては、基金の取崩しが続くなど厳しい状況にあることも事実であります。市長が掲げられた行財政基盤集中改善プロジェクトを着実に推進し、将来にわたって持続可能な行財政運営を確立されることを強く求めます。また、今後に向けては、社会情勢に応じた物価高騰対策、要配慮者への支援の拡充、放課後児童対策のさらなる充実や、小学校体育館の空調整備の早期実現、公共交通の利便

性向上や本市の発展につながる平子町北地内市有地の売却、デジタル技術の活用による市民サービスの向上などについて、引き続き取組を進めていただくことを要望いたします。

公明党尾張旭市議団は、今後も小さな声を聞く力を発揮し、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、誰一人取り残さない市政の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

以上の理由により、本予算に賛成することを表明し、討論いたします。